

佳作
(高校部門)

広島県立尾道北高等学校 2年

藤原 かなな
柑奈

義務教育とは山を登る作業ではなく登る必要が出た時に登れるようにしておくと

堀元見 (ゆる言語学ラジオ『江戸時代の米はビットコインに似ている』【雑談回】#58)

きつと誰もが一度は思ったことがあるのではないだろうか。「どうして勉強なんかしないといけないんだ。」「勉強が将来何の役に立つんだ。」私も例に漏れずこのようなことを幾度となく考えたことがある。ゆる言語学ラジオの水野氏、堀元氏は私の憧れだ。知識に対してひたすらに貪欲で、雑学を語り始めれば止まらない。「うんちくおじさん」な彼らの会話を聞いていると、もっと知識を蓄えて、彼らのように解像度が高い世界を見てみたいという願望が湧いてくる。「義務教育は人生の伏線」、その言葉に痺れた。勉強に楽しさを見出せる気がした。いつか来たる日の私に、今日私はどれだけ伏線を張っておけるだろう。

出典

「ゆる言語学ラジオ『江戸時代の米はビットコインに似ている』【雑談会】#58」
から堀元見の言葉